

11月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡県。例年並みの入荷量が見込まれる。上位等級が中心となり、中旬より秋冬系品種に切り替わる。
	黄・赤菊	静岡、沖縄県からの入荷が中心となる。沖縄産は中旬以降より増えてくる見込み。静岡、愛知県は精の光彩が中心の入荷となる。
小菊		主な産地は沖縄、静岡、福島県。上旬より沖縄県産の入荷が開始する。全体的には少な目の見込み。
SPマム		愛知、静岡、栃木県からの入荷が中心となる。全体的に作付けは若干減少傾向。中旬から沖縄産も始まるが少ない見込み。秋系品種主体になってくる。
バラ		栃木、静岡、愛知県の西南産地中心の入荷。輸入ものは品種数が少なめの見込み。
カーネーション		長崎、千葉、静岡県中心の入荷。生育が遅れている産地もあり、やや少な目の入荷が見込まれる。
かすみ草		和歌山県からの入荷が始まり、暖地もの中心。天気次第で数量が増減。
リシアンサス		西南暖地から本格的に入荷開始となる。関東は前進の影響により、やや少ない入荷の見込み。
ユリ	オリエンタル	埼玉、新潟県のハウス物と、高知、千葉県中心の入荷で、高知産は例年よりも品質が良く、新潟産は夏場の暑さの影響でやや品質低下。 白：色は6:4で、カサブランカは変わらず品薄、代わりに八重咲き品種が安定入荷。
	スカシ・鉄砲	テッポウユリは埼玉、千葉、高知県から少量の入荷。スカシLAは埼玉県中心の入荷で新潟県は少量。全体ではほぼ例年並みの入荷量の見込み。
洋ラン類		オンシジューム、デンファレは上旬から徐々に輸入を中心に数量が減る見込み。シンピは輸入ものが終了となり国産に切り替わる。
季節もの		花ボケ、ユーカリは潤沢な入荷。紅葉、実物系は猛暑残暑の影響で入荷は激減。クリスマス花木の入荷が始まる。輸入商社取り扱いのモミ、ネズの注文が完売になりそう。グラジオラスは大分産が11月上旬から入荷スタート予定。